



支援を前提としない 新しい子ども家庭福祉

子ども・若者が創る アウトリーチ

アウトリーチとは「手をのばす」という意味です。

全国こども福祉センターは、名古屋駅前の繁華街や SNSなどで、子ども・若者に対して声をかけ、つながりをつくる活動をしています。際立った特徴は、団体のメンバーである子ども・若者自身が、子ども・若者に対して声をかけている点です。本書では、この新しいスタイルの児童福祉（子ども家庭福祉）の理念や活動内容を紹介しています。

- 著者 あらい かずき
荒井 和樹
- 価格 本体 1,800 円+税
- 判型 A5 判
- 頁数 232 ページ
- 発売 2019 年 10 月下旬

著者 **荒井 和樹** NPO 法人全国こども福祉センター理事長／保育士／社会福祉士
元児童養護施設職員。日本福祉大学大学院社会福祉学専攻修士課程修了。施設職員として在職中、支援拒否など、福祉が届かない子ども・若者と出会う。退職後は繁華街や SNS でフィールドワークを実施。子どもたちを支援や保護の受け手として迎えるのではなく、仲間として迎え、本人が実践できる環境を提供する。2012年に全国こども福祉センターを設立。現在は同法人理事長、日本福祉大学非常勤講師、同朋大学実習担当教員などを務めている。

もくじ

- 第1章 全国こども福祉センターについて
- 第2章 アウトリーチの5W1H
- 第3章 わたしがアウトリーチを始めた理由
- 第4章 アウトリーチの様々な目的・形態
- 第5章 子ども家庭福祉の役割と課題
- 第6章 アウトリーチの展開過程とスキル
- 第7章 メンバーたちへのインタビュー

主な内容

- 福祉の届かない子ども・若者にアウトリーチし、つながりをつくる方法を紹介しています。
- 子どもを支援対象者として見るのではなく、問題を発見し、解決に取り組む主体として認めることの重要性をうたっています。
- 全国こども福祉センターが長年実践してきたアウトリーチを体系化し、方法論やスキルをまとめています。
- 現在の子ども家庭福祉の役割と課題をとりあげ、課題解決に向けた提言を行っています。

FAX 06-4704-5444

ご注文はアイエス・エヌへ
※返品は長期にお受けいたします。

ご注文申込書	番線印	発行 アイエス・エヌ(株) TEL 06-4704-5443
	部数 冊	支援を前提としない新しい子ども家庭福祉 子ども・若者が創るアウトリーチ 荒井和樹 著／A5判／232ページ／ソフトカバー 本体1,800円+税／ISBN 978-4-909363-06-0